

| | | |
|--|------|--------------------|
| 活動名 手作りの紙人形劇(ペープサート)を通じて 地域を元気にする | 団体名 | 夢配達人プロジェクト 玖島実行委員会 |
| | 地域 | 広島県廿日市市 |
| | 代表者 | 会長 清水 透 |
| | 支援金額 | 20万円 |
| 活動概要 | | |
| <p>廿日市市立玖島小学校2年生が、国語の授業で取り組んだ紙人形劇からその楽しさ、心に感じたことを日頃お世話になっている地域の方々に披露し、地域全体が元気になってもらおうという活動です。</p> <p>またこの取り組みは、夢配達人プロジェクト事業として青少年育成県民会議で採用され、物語の作成には絵本作家の宮西達也さん、紙人形劇の制作、実技指導には山下義文さん(劇団かかし座)などを専門家に指導してもらい、学校及び地域ぐるみでこの夢を実現していくものです。</p> <p>今後も、地域の集会所や養護施設などで公演を続ける予定です。</p> <p>◆実施時期 2011年4月1日～2012年3月31日 玖島小学校及び地域の集会所</p> <p>◆参加人数 玖島小学校児童40名 玖島小学校教職員8名 実行委員会23名 児童保護者(PTA)50名 学校でのワークショップ参加者 約120名 発表会参加者 約200名 各集会所での参加者 約200名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:600名</p> | | |



5月15日 宮西達也さんと一緒に



集会所公演に集まっていた地域のみなさん



集会所公演の舞台裏



第1回発表会の様子

◆実施に伴う効果

- ・☑学校での発表や地域の集会所での発表では、多くのみなさんに集まっていただき影絵劇を見ていただいた。1回だけでなく2回以上参加していただいた方もいらした。多くの方が「感動しました。」と、子どもたちに惜しめない拍手と感謝やお礼の言葉をいただいた。
- ・☑学校の取り組みではなく、地域と一体となった実行委員会として活動したことで、多くの方の協力を得られた。当初の目的である「手作りの紙人形(ペープサート)を通じて地域を元気にする」が十分に達成されたと考える。
- ・☑子どもの夢を実現する過程を通して、地域や各団体の「つながり」が深まった。

◆苦勞した点

- ・☑苦勞とはいえないが、お忙しい中この活動に積極的に関わっていただいた実行委員会のみなさんを始め多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になりました。
- ・☑宮西達也さんをお呼びする時、廿日市市民図書館など多くの人のお世話になりました。
- ・☑実行委員会を立ち上げ、三原市でのかかし座公演を鑑賞させていただいたり、東広島市の「この本大好きな会」へ訪問し研修に参加したりするなど、関係者との調整を行いました。

◆今後の課題・発展の方向性

地域の方からの「また来てほしい。」との声をうけ、来年度以降も影絵を学校として取り組み、地域の声に応えていきたいと思えます。

2012年10月27日(土)には、県民文化センターにおいて今回の影絵劇を発表する予定です。

◆活動を終えての感想・意見等

多くの地域の方々にお世話になりました。ありがとうございました。

影絵劇をご覧いただいた多くの地域の方々が、涙を流していらしたことや、大変喜ばれていた。その姿をみた子どもたちだけでなく関わった全ての人が充実した達成感を持つことができた。このことは子どもたちのこれからのすばらしい力になると思えます。

はじめは、手探りの状態でしたが、宮西達也さんを廿日市市民図書館や「この本大好きな会」の朝川さんがつながりを作ってくださり、地域の方がかかし座の活動を紹介して下さったりするなど人と人のネットワークがどんどん広がり多くの方と「つながり」ができました。子どもたちにも地域の方にもそのことが大きな財産となりました。また、あきらめずに努力すれば夢は実現することを、大人も子どもも実感しました。